

# 海外事例情報報告会 (Part 2)

## 住めば都～カラチ～



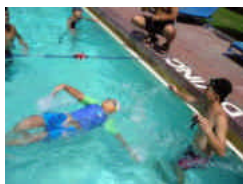
「上坂 寛先生」 「パキスタン国旗」 「カラチ日本人学校校章」

カラチはインダス川の三角州の西に位置し、アラビア海に臨むパキスタン唯一の国際港湾都市です。カラチの人口は、現在1千万人以上とされていますが、住民票がないためあまり正確な数値ではないそうです。

乾燥帯気候に属し、11月から2月までは日本の秋や春のような気候ですが、5月・6月では、40度を越える日もあります。雨はほとんど降りませんが、7月・8月には数回短い時間の集中豪雨に見舞われ、道路に水があられ、交通渋滞になることもあります。

人口の97%はイスラム教を信仰しています。イスラム教徒の国ですので飲酒、豚肉を食べること、肌を多く露出することなどは、慎まれています。しかしラマダン（断食）の際にも最近では、こっそり水や食物を口にする人もいます。

カラチ日本人学校は、世界で4番目に古い日本人学校です。様々な特色ある教育が行われています。水泳の授業では、学校にプールがないためカラチ市内のホテルのプールを利用して練習しています。4月から10月までの約6ヶ月間、毎月1回泳力検定を実施して、目標を持ちながら練習をするため、低学年でもバタフライができるようになったりしています。



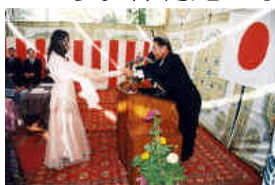
海亀産卵見学（10月実施）は、カラチ日本人学校の大きなイベントの一つです。事前にカラチタイムで海亀のことについての学習、産卵場の清掃をし、夜に産卵の様子を見学します。卵に触れたり、小亀を海に放したり、特に今回は産卵に来たたくさんの海亀を観察することができます。



カラチ日本人学校では、カラチの日本人会の皆さんと一緒に、広いグラウンドで運動会を楽しみます。(11月)



カラチ日本人学校の卒業式は、パキスタンの民族衣装をまとう子どもたちも多いです。体育館がなく、校庭で様々な行事が行われています。



平成18年2月に創立40周年記念式典が盛大に行われました。また、式典に際して、カラチ日本人学校校歌を作曲してくださった神津善行様より、かねてよりアラビア方面の音楽にとっても興味があった氏の、パキスタンカラチへの想いと、児童生徒に対する愛しみの込められた、校歌を作曲していただいたときのエピソード・思い出を寄稿して頂いたそうです。

カラチの治安等に慣れるまで少々時間がかかりましたが、「住めば都」の3年間でした。